

オリーブハウス 運営推進会議 報告書

事業所名：認知症対応型通所介護オリーブハウス

会議開催日：R7/3/21（金）（R6 年度 第 2 回）

開催場所：オリーブハウス ホール

出席者

事業所	2 名	福祉会推進委員	1 名
宇城市地域包括支援センター	1 名	利用者家族	2 名
12 区区長	1 名		
地域民生委員	1 名		

議事

1. 事業所の利用者状況について

現在合計 24 名。要介護 1 が一番多い。

最近は重症化しており、要介護 4.5 が多い。入院や家族が自宅での介護に限界を感じ、ロング SS や入所になられた方が増えてきている。家族が熱心な方ほど、介護度も 4.5 まで、自宅でみられている。熱心だからこそ、悩む方が多く、認知症ケアとしては、“頑張らない介護・あきらめる介護”を推奨している。

2. 活動報告

【午前中】

脳トレ（計算・そろばん・漢字・ことわざ・色塗りなど）

作業療法（貼り絵・壁面作り・折り紙・箱作りなど）

家事動作訓練（食事の準備や片付け、タオルたたみ・干しなど）

※本人のやりたいこと・得意なことを実施することで自信を持つ

苦手なことは自信を失うことになるため実施しない

女性は生活リハビリを中心に実施し、役割を持ってもらう。

【午後】

毎日、お出かけ実施。公園でのお散歩や季節の花見、買い物レク、ドライブなど。

※目的をもち、安全を確保しながら、利用者主体で実施。

日光浴、外での活動をメインに、社会参加している。

利用者様の行きたいところなどの希望を確認し実現している。

* 今後の活動計画 お花見など

3. 利用者様ご家族より

- ・困りごと：同じことを何度も言う。

かかりつけ医からは、その場を離れてみることを提案された。

- ・困りごと：夜間、尿失禁あり、あちこちに尿失禁しているため、どうしたらいいか。

夫が入院してから、外へ出て行くことがある。

ケアマネからは GPS の提案があったが、まだどうかと検討中。

今後は介護負担軽減でショートステイも考えていってみたいかどうかと、提案する。

4. 意見交換

- ・区長様より なぜ、要介護 4.5 は 70 代の方が多く、80 代以降は介護度が低いのか
→他の通所との違いだろう。特色でもある。若年性のかたも受け入れているため、
その傾向にあると思われる。

- ・区長様、福祉推進委員様より おりがみ教室を公民館で第 2 火曜日に実施して
いるため、参加されてみてはどうか

→来月より、利用者の状況みて参加する方向で。社会参加できるような体制を整えていく。

以上